

- 再生可能エネルギーの活用：創エネ
- 建物の省エネルギーの徹底：省エネ
- 森林整備・保全によるCO<sub>2</sub>吸収：固定

# 三重大学 キャンパスのカーボンニュートラル (省エネ番外編)

知っていますか？  
キャンパスにある**三翠会館**と**レーモンドホール**は登録有形文化財（建造物）です。



木造建築物は、増改築がしやすく、移築や用途変更もしやすいため、何度も形を変えて長期間使い続けることができます。

■ 省エネと文化財  
文化財は保存のために、省エネ基準適合を図ることが困難であるため、建築物省エネ法\*の適応除外とされていますが、**三翠会館**と**レーモンドホール**は木造建築物であり、資材である材木を長期利用することにより、建設や撤去にかかる環境負荷の軽減に取り組んでいます。

\*建築物省エネ法 建築物に特化した省エネ基準が設けられている法律。2025年4月から原則すべての建築物に省エネ基準への適合義務が施行されました。

## ◆ 環境負荷の軽減、ライフサイクルアセスメントの観点からみた木造建築物

### ■ 三重大学三翠会館 築90年

1936（昭和11）年に三重大学の前身の三重高等農林学校の開校10周年記念事業として、同窓会の寄付により建築された建物です。  
1972（昭和47）年のベランダ設置、2001（平成14）年の大改修を経て、現在、耐震補強と安全性の向上及び保存修復による歴史的意匠の再生のため、改修工事を推進しています。

増築 改修  
ベランダ増築 耐震



改修前の三翠会館(2005年8月3日撮影)



レーモンドホール (2026年2月5日撮影)

移築 用途変更  
大谷町から解体移築 図書館→食堂→ホール

### ■ 三重大学レーモンドホール 築75年

1951（昭和26）年に三重県立大学の附属図書館として津市大谷町に建築され、1969（昭和44）年に現在地に移築された建物です。  
アントニン・レーモンドによる設計であることちなみ、2003（平成15）年に登録有形文化財となった際に名づけられました。

※詳細はこちらからご覧ください  
[三重大学附属図書館 | 三重大学レーモンドホールとアントニン・レーモンド](#)



上浜キャンパス航空写真 (2024年5月4日撮影)



2050カーボンニュートラルに向けた取組計画

国立大学法人 三重大学  
地球環境センター  
施設部 2024年11月発行